

須磨学園中学校合格

坂入 美羽 さん

(所属 伊丹教室)

須磨学園中学校合格

大阪桐蔭中学校合格

テーマ 浜学園での自分自身の歩み

「終わりよければすべてよし」

(4年生、5年生)

まだ受験に対する意識が低く、楽しく伊丹教室に通っているだけでした。5年生の頃から受験を意識して授業を受けておいた方がよいと思います。

(6年生夏休み前まで)

一般コース(マスターコース)の授業は、4、5年生のときと同じように楽しく通っていました。日曜錬成特訓は、まだ受験校を決めていなかったため、偏差値だけでコースを選んでいました。

(6年生夏休み)

夏期講習は西宮教室に通い、一般コースの授業は伊丹教室に戻って受けていました。宿題は多く出るので、早朝特訓で終わらせるのを勧めます。1週間の学習計画は、担任の先生とタイムスケジュール表を使って立てました。この頃はまだ志望校は決まっていませんでした。

(6年生冬休み前まで)

9月になり、担任の先生と相談して志望校を決めました。私は、共学校を希望しており、先生から須磨学園を勧められました。正直この時は、須磨学園のことを全く知りませんでした。10月になり、西宮教室で須磨学園の過去問対策講座を受けました。最初は、問題が難しくて全く解けませんでした。学校説明会にも行きました。アジア研修に行く直前の中学2年生が英語で学校を紹介している姿を見て、自分もそうなりたと思いました。これがきっかけで、私は本気で須磨学園に行きたいと決心しました。11月からの日曜志望校別特訓は、須磨学園の受験対策のために、明石教室の白陵コースにしました。この頃からは、夜早く寝て、朝3時に起きて勉強するようになりました。

(6年生冬休み)

入試直前特訓では、自宅のある伊丹から明石教室まで毎日通いました。通学時間が長かったので、その間に四字熟語など苦手分野の暗記勉強をしました。隙間の時間も有効に活用することが大切です。冬休みは、朝9時半から夜8時半まで勉強漬けで大変でしたが、悔いの残らないよう精一杯頑張りました。

(いよいよ受験本番)

問題は思っていたより難しくなかったけれど、本当にできているのか心配でした。翌日、合格したことを父から教えてもらった時は、本当に嬉しかったです。